

AWA BANK
Mini-Disclosure
2022.9

2022 阿波銀行

ミニディスクロージャー誌
2022.9

第211期 営業の中間ご報告

2022年4月1日～2022年9月30日

～お客さま感動満足 の創造に向けて～

行是

堅実経営

経営方針

信用の重視

地域への貢献

お客さま第一

人材の育成

進取の精神



TOP MESSAGE

皆さまには、平素より私ども阿波銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

また、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられたすべての皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

当行は、明治29年の創業以来培ってきた行是「堅実経営」を実践し、本年6月に創業126周年を迎えました。これもひとえに、お客さま、株主さま、地域社会の皆さまからの永年にわたる温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、2022年度上半期は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、ウクライナ情勢の行方、原材料や燃料、食料品の価格高騰、さらには米国を中心とした大規模な金融引き締めの警戒感から急激な円安ドル高が進行しており、国内および県内経済においても、先行きの不確実性が一層高まっています。

一方で、激甚化する自然災害や気候変動問題への対応等、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現や社会全体の生産性向上に向け、「GX（グリーン・トランスフォーメーション）」や「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」といった視点がますます重要になっています。

このような経済・社会環境のもと、当行は、お客さまと一緒に、これからの課題に向き合い、新たな価値創造と地域社会の持続的な発展に取り組んでいます。2018年4月にスタートした長期経営計画「As One」の最終年度を迎える当期においては、「新たな需資創造とリスクテイクによる貸出金の強化」「ESG投融資と脱炭素に向けた本業支援」をテーマに掲げ、すべてのお客さまと世代を超えた息の永いお取引を継続し、永続的な発展に寄与していくという当行の伝統的営業方針「永代取引」をさらに進化させる取り組みを実践してまいります。

そして、これからも、お客さま一人ひとりに寄り添い、お客さま感動満足を創造するとともに、地域から愛され信頼される「強くて良い銀行」をめざして、当行グループ役職員が一丸となり取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役頭取 **長岡 奨**

地域の金融リテラシー向上に向けて 徳島県を「金融先進県」に

一生涯を通じた人生設計をサポート



AWAGIN × NOMURA
alliance

当行および野村證券の両社は、金融商品仲介業務の包括的業務提携を締結し、最適な資産運用や専門性の高い各種相談・提案ができる体制を構築することで幅広い商品・サービスをご提供しています。お客さま本位の業務運営を実践するとともに、一生涯を通じた人生設計をサポートし、地域の金融資産を守り育てていく新しい銀証連携ビジネスモデルの構築をめざしています。



職場つみたてNISA 従業員向け説明会の様子

金融教育・出前授業の充実

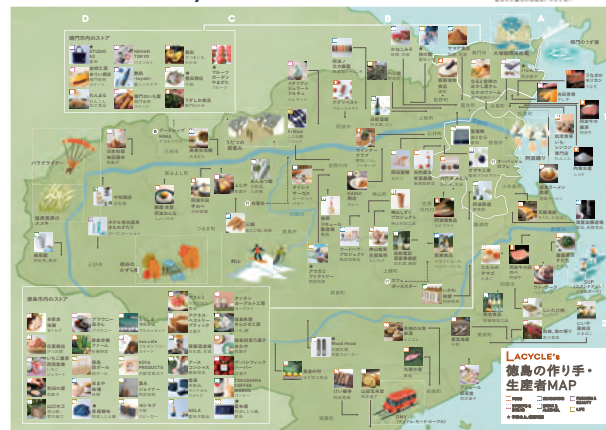
～子ども達の未来に向けて～

子どものうちからお金の大切さや仕組み・役割等の金融リテラシーを楽しく身につけ、将来、社会人として主体的に行動できるよう、小・中・高などへの金融教育・出前授業を通じた支援を行っています。2022年7月には、徳島県と金融経済教育充実のための連携協定を締結し、地域一体となって徳島県の金融リテラシー向上に取り組んでいます。



まなぼう教室「サイコロゲームで輸入体験」

幸せが循環する新しい消費の カタチ「Lacyle mall」



ECモール「ラシクルモール」は、SDGsをテーマに掲げ、“未来につながる”“地域を元気にする”“子どもたちを応援する”といったコンセプトで素材や環境に配慮した良い商品を多数取り扱っています。当初、49社でスタートした出店者数が104社、出品数は700品目を超えました。徳島の魅力、出店者の方々の想いを広く社会に発信しながら、みなさまが心から満足できる新しい消費の形を提供していきます。

本店営業部ビルが「国土交通大臣賞」を受賞

2022年9月に発表された日事連建築賞において、当行の本店営業部ビル（設計：（株）日建設計）が最優秀賞にあたる「国土交通大臣賞」を受賞し、「品格のある質の高い空間を街の中心地に生み、市民に体験させようとする施主と設計者の努力は貴重」との評価をいただきました。



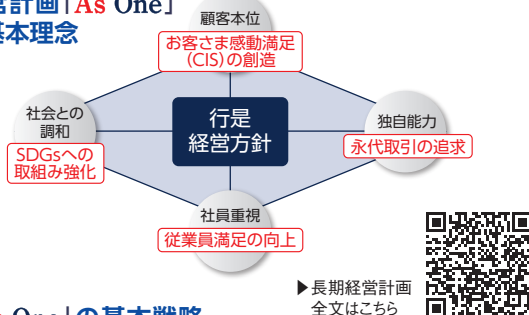
As One

～構造改革と永代取引の進化～

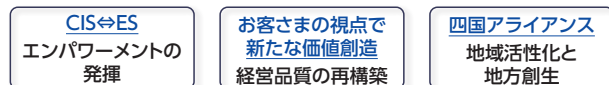
【計画期間】2018年4月～2023年3月

【ありたい姿】卓越した価値を提供し、地域とお客さまの「ベストパートナー」へ

▶ 経営計画「As One」の基本理念



▶ 「As One」の基本戦略



構造改革と永代取引の進化

1. 永代取引の実践

包括的コンサルティング 営業の実践 ファミリーサポート 営業の実践 複合取引の強化

2. BPR(永代取引を支える基盤強化)

～店舗改革・事務改革・本部改革～

3. チャンネルの強化

～あわぎんハイブリッドチャネルの実現～

4. グループ総合力の発揮

～ワンストップソリューションの実践と連結収益強化～

5. 人材育成

～永代取引を支える人材育成(長期人材育成計画の改定)～

RAF構築とガバナンス強化

お客さまから選ばれ続ける『卓越した規模効率経営』をめざします

経営目標	コア業務純益	コア業務純益ROA	修正OHR	当期純利益ROE	貸出金徳島県内シェア	CIS指標
最終年度目標	180億円以上	0.48%以上	62%未満	4%以上	50%以上	80ポイント以上

永代取引の追求

▶ コロナ関連融資の取組み状況

2022年9月末までのコロナ関連融資の実行額は、累計で12,567件、3,223億円となっています。その内訳は保証協会付き融資が全体の76%を占めており、徳島県内50%、県外50%となっています。

また、プロパー融資のうち、「あわぎん緊急特別融資(新型コロナウイルス感染症対応)」は、同年4月から、資金使途に関わらず融資期間を最長20年とし、お客さまの状況に応じた柔軟な対応が行えるよう改定しています。

2020年3月～2022年9月 累計	実行件数	実行金額
コロナ関連融資(合計)	12,567	3,223億円
保証協会付き	10,873	2,439億円
県内	7,308	1,215億円
県外	3,565	1,224億円
プロパー	1,694	783億円
県内	564	189億円
県外	1,130	593億円

▶ あわぎんSDGs対応度診断サービスの取扱い開始

SDGsの達成に向け取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎんSDGs対応度診断サービス」の取扱いを開始しました。当サービスは、SDGsに関するお客さまの取組状況の現状評価から、取組目標の策定までを一貫してご支援するものです。また、取組目標に基づいた「SDGs宣言書」を策定し、その内容を当行HPで公表しています。

9月末時点で、581先の企業および個人事業主の方々に当サービスをご利用いただいております、そのうち268先が「SDGs宣言書」を策定されました。



「あわぎんSDGs対応度診断サービス」をご利用いただいたお客さま

▶ 第2期「SDGs実践ゼミ」を開催

2022年3月～8月までの半年間にわたり、第2期「SDGs実践ゼミ」を開催しました。環境や社会の課題解決への取組みが注目されるなか、当ゼミは、「SDGs・ESGに高い関心があり、自社の取組みを加速させたい」という企業の方々と一緒に、自社の課題を洗い出し、今後の事業展開や経営戦略策定を行うものです。最終回の8月には、取組内容の発表と参加企業がそれぞれの課題を解決するための「パートナーシップ交流会」を開催しました。



SDGs実践ゼミ「パートナーシップ交流会」

従業員満足の上

▶ 健康経営への取組み

健康経営優良法人ホワイト500認定

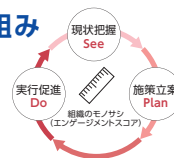
当行では、「あわぎん健康経営宣言」を行い、職員およびその家族の健康に関するさまざまな取組みを推進しています。具体的な取組みとしては、34歳以上の人間ドック全額補助に加えて、脳ドックやPET-CT検査の費用補助を職員はもちろん、その家族にも一部補助を行っています。

また2021年4月から、健康保険組合・従業員組合とともに「健康ポイント制度」を開始し、徳島県が提供する健康ポイントアプリによる一日当たりの歩数の状況や、人間ドック等の受診状況、健康に関する研修会への参加状況などをポイント化し、個人やグループごとで競い合いながら、健康への意識向上および運動習慣の促進・定着化を図っています。



▶ 従業員エンゲージメントへの取組み

半年に1度グループ会社を含むすべての部署においてエンゲージメントサーベイを実施しています。サーベイ実施後、各部署でダイアログを実施しアクションプランを策定・実行することで、継続的な組織改善活動につなげています。



各部署で実施しているダイアログ

SDGsへの取組み強化

▶ TCFD提言への取組み

当行は、2009年6月に「環境方針」を制定し、気候変動を含む環境への対応を優先的に取組むべき重要な課題であると認識し、2021年6月に「TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)」の提言に賛同しています。今後も、TCFD提言の開示フレームワークに基づき、気候変動に関する情報開示を充実してまいります。

<<https://www.awabank.co.jp/about/sdgs/tcdf/>>



取組みの
全文はこちら

▶ 「あわぎんai-mo通帳」

新規・切替件数に応じた寄付の実施

「あわぎんai-mo通帳」の新規・切替件数に応じて、徳島森林づくり推進機構への寄付を毎年実施しています。2022年は、寄付金を元に製作された徳島県産材「木製遊具」を県内2保育施設へ、遊山箱46組を「徳島木のおもちゃ美術館」へ寄贈しました。



寄贈した遊山箱(藍染め)

▶ 四国アライアンス

四国の地方銀行4行が協働し「四国創生」へ四国地域の魅力を高め、地域・お客さまと各行が持続的に成長・発展を遂げるため「興す」「活かす」「繋げる」「育む」とこれらを支える「協働する」の5つのテーマに取り組んでいます。



▶ 神山まると高専開校

起業を促す環境で最先端の教育が受けられる「神山まると高専（2023年4月開校）」と積極的に連携を深めています。地元企業との好循環を後押しし、徳島が日本をリードする地域モデルとなるよう当行も力を尽くしてまいります。



▶ TIB（徳島イノベーションベース）への参画

企業の成長・発展の起点となる「起業家」マインドを持った人材を育てるTIBへの参画を通じて、徳島経済の発展ひいては地域活性化に積極的に取り組んでいます。



起業家を講師に招いての講演（月例会）

▶ 地域活性化への取組み

当行はサッカーJ2「徳島ヴォルティス」をユニフォームスポンサーとして応援し、毎年「阿波銀行マッチデー」を開催しています。



徳島ヴォルティス「阿波銀行マッチデー」

地元徳島のリーディングバンクとして、地域のみなさまとのコミュニケーションを大切にしたいと考え、地域行事や催しに参加するなど、さまざまな活動を実施しています。



当行もあわぎん連として阿波踊りに参加

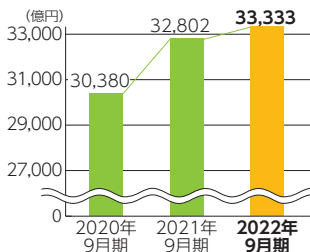
本店営業部2階、3階の吹き抜けに面した開放的な空間で誰もが気軽に作品を展示できる無料ギャラリーを運営しています。



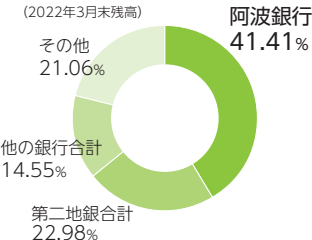
無料ギャラリー 阿波銀プラザ

▶ 預金の状況

■預金・譲渡性預金(平均残高)推移

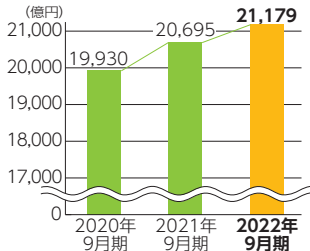


■徳島県内シェア ※ゆうちょ銀行を除く

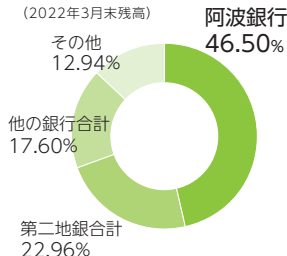


▶ 貸出金の状況

■貸出金(平均残高)推移

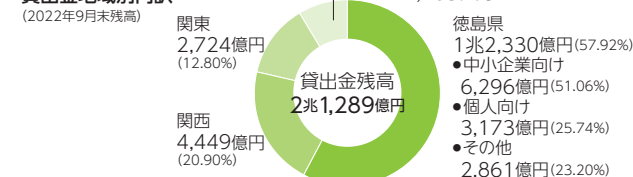


■徳島県内シェア



▶ 強固な顧客基盤とネットワーク

■貸出金地域別内訳



当行は、徳島県内を中心に強固な顧客基盤を構築しています。県内に83店舗を置く一方で、関西9店舗・関東6店舗・中四国5店舗を県外地域に出店し、コアビジネスである中小企業向け取引に取り組んでいます。

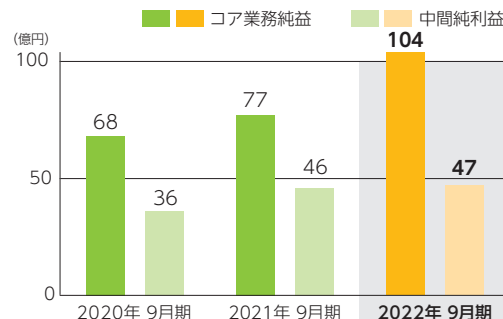
■徳島県以外の店舗網



▶ 業績の推移

コア業務純益は、資金利益や、その他業務利益(除く国債等債券関係損益)が増益となったことなどから、前年同期比26億円増益の104億円となりました。また、経常利益および中間純利益は、有価証券関係損益が減益となったものの、実質与信費用が減少したことなどから、それぞれ同4億円増益の70億円、同1億円増益の47億円となりました。

■単体ベース (6ヵ月)



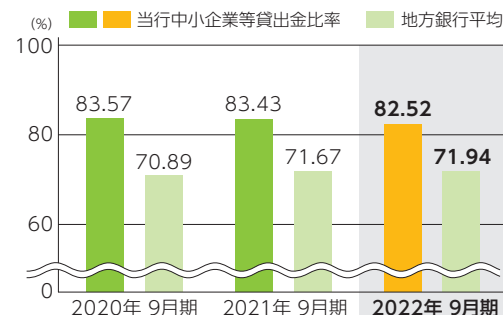
(単位: 億円)

	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期
コア業務純益	68	77	104
経常利益	55	65	70
中間純利益	36	46	47

(単位: %)

	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期
コア業務純益ROA	0.39	0.39	0.53
中間純利益ROE	2.86	3.18	3.46
修正OHR	66.67	64.71	57.34

■中小企業等貸出金比率



(注1) 地方銀行平均は、全国地方銀行協会会員各銀行の数値を単純平均しています。

(注2) 地方銀行平均の2022年9月期は、2022年3月期の数値を使用しています。

自己資本比率(連結)

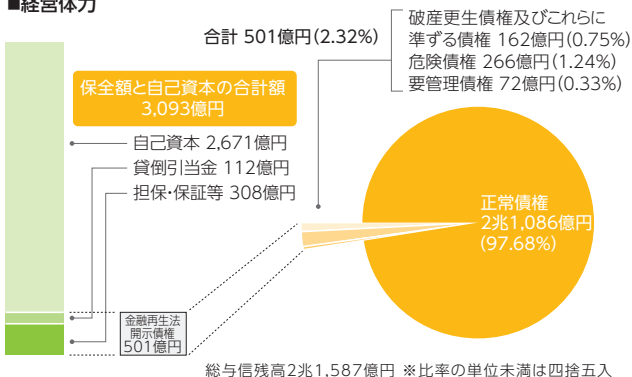
銀行の安全性・健全性を表す自己資本比率は、資金運用の強化を主因にリスクアセットが増加したことから、前年同期比0.53ポイント低下の11.13%となりましたが、引き続き高い水準を維持しています。



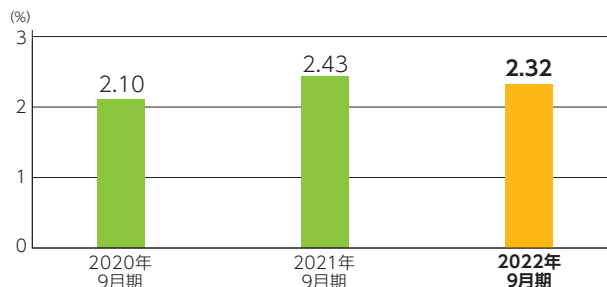
資産の状況

適切な債権管理を実施し、十分な経営体力を確保しています。

■経営体力

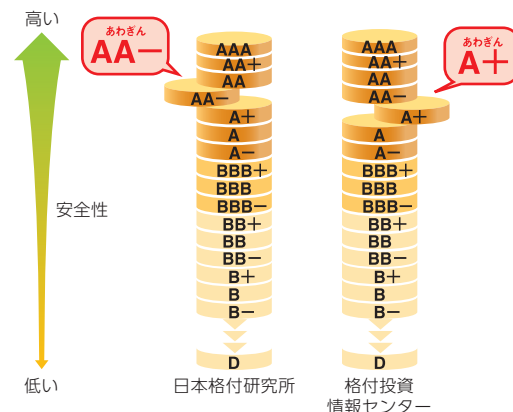


■リスク管理債権（金融再生法開示債権）比率



格付け (2022年9月30日現在)

銀行の安全性・信用度を示す格付けは、日本格付研究所 (JCR) から「AA-」、格付投資情報センター (R&I) から「A+」を取得しており、当行の経営の安全性は高く評価されています。



[日本格付研究所]

16年連続 **AA-**

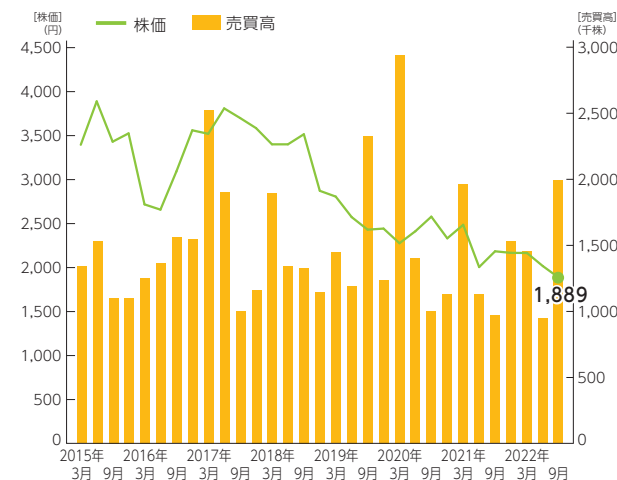
[格付投資情報センター]

22年連続 **A+**

株式情報 (1単元の株式数100株)

株式数 (2022年9月30日現在)	発行可能株式総数	100,000 千株
	発行済株式の総数	43,240 千株
	株主数	12,004 名

■当行株価と売買高の推移 (2022年9月末)



※2018年9月30日以前については株式併合勘案後を記載

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までといたします。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
期末配当金	3月31日現在の株主さまに対し、お支払いいたします。
中間配当金	中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主さまに対し、お支払いいたします。
定時株主総会の 基準日	毎年3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
〔郵便物送付先 お問合せ先〕	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 0120-707-843(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。 当行ホームページアドレス https://www.awabank.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公 告をすることができない場合は、日本経済新聞および徳島新聞に 掲載いたします。

各種手続のお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 配当金受取方法の指定、単元未満株式の買取・買増、住所変更等証券会社をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へお申出ください。証券会社をご利用でない株主さまは、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

特別口座での手続用紙のご請求はインターネットでも受付いたしております。

日本証券代行株式会社ホームページアドレス

<https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

当行の概要 (2022年9月30日現在)

創業	明治29年6月21日
本店所在地	徳島市西船場町二丁目24番地の1
資本金	234億円
店舗数	103店舗 (徳島県内83店舗、県外20店舗)
従業員数	1,343人
格付け	AA－ (JCR) A+ (R&I)



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。